

夏の防災特集

夏になり台風シーズンをこれから迎えます。みなさんは昨年「避難勧告」は無くなったのはご存知でしょうか？令和3年5月から避難指示に1本化されています。現在では下記のような危険度レベルの表示になりました。

危険度 ↑ 高 低	5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全保護	特別警報、氾濫発生情報
	4	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 気象警報・高潮特別注意報
	3	高齢者 障がい者 乳幼児 等とその支援者は避難 他の市民は避難準備	高齢者等 避難・ 避難準備	大雨警報、洪水警報 高潮注意報、氾濫警戒情報
	2	避難に備え、ハザードマップなど避難行動の確認		高潮注意報、大雨注意報 洪水注意報、氾濫注意情報
	1	防災気象情報等、最新情報に注意し、災害への心構えを高める		早期注意情報

これを見ると、レベル3で避難に時間がかかる人とその支援者の方が避難開始となります。そしてレベル4では全員危険な場所からの避難となります。レベル5ではすでに災害が発生（もしくはいつ起こってもおかしくない状態）なので、避難は困難であることが予想されます。この時には無理に避難所に行くことはせず、できるだけ身の安全を守れるところに待機してください。繰り返しますが、**レベル4で全員避難**です。

避難の際には、下津井地区では下記が公的な避難場所となります。災害によって避難場所は変わります。

避難場所	住所	土砂災害	洪水	地震	津波	高潮
下津井東小学校	下津井田之浦 2丁目 4-66	○	○	○	○	○
下津井中学校	下津井吹上 140	×	○	○	○	○
下津井西小学校	下津井 1丁目 17-16	×	○	○	○	○
下津井公民館	下津井 2丁目 815-1	×	○	○	×	×

また、緊急時などは公的避難所だけでなく自宅2階や親せき・知人宅などへの避難も可能です。上記の他、デイサービスセンターしおかぜ城山は吹上地区の届出避難所になっています。

また、総合ケアセンターしおかぜ（三百山）は片原地区の届出避難所になっています。「避難をどうしようかなあ・・・。」と迷って避難しなかったことも過去何度もあると思います。しかし本当に危険が迫っている時に迷いは命にかかります。避難の最後の一押しは地域のお互いの声掛けです。危ないと感じたらみんなで逃げましょう！



非常用持ち出し袋の準備はされていますか？

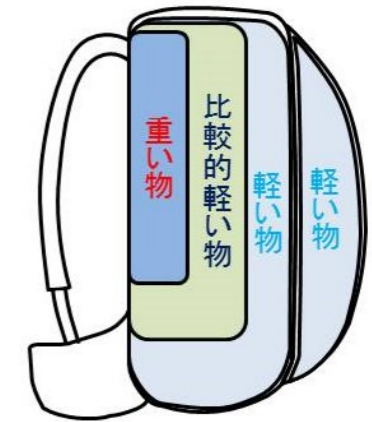
ある程度は楽に持ち運べないと逃げられないです



避難場所との距離や体力にもよりますが、できるだけ軽量で運びやすいものがおすすめです。家にある物で準備もできますが、ホームセンター等で購入することができます。すでに自宅に防災リュックを準備されている方、今後用意される方は、肩ベルトの長さを自身の体格に合わせて調節する事で、負担が少なく背負いやすくなります。また、『家にあるから安心』ではなく、備蓄品の賞味期限の確認、季節ごとに中身を入れ替えたりして必要なものを追加するようにしましょう。

また、荷物の詰め方のポイントですが、以前警視庁の災害対策課が紹介していた荷物の詰め方を紹介します。袋には重いものを下に入れがちですが、一番肩に近い所に重いものを入れ、その下に軽いものを入れると、軽力で運びやすくなるそうです。

常備薬や普段の内服薬などは中身が見えやすいポーチに入れておくとも中身の確認もしやすく、散乱しません。着替、オシメなどは圧縮袋に入れておくとかさばりません。



暑さ対策グッズ紹介 ～普段でも、避難先でも大活躍～

- * エントリーNo.1：コンパクト扇風機
小型で持ち運べも便利。手持ち型（ストラップがあれば首から下げられます）、置き型、首掛け型の3種類があります。また、充電式と乾電池式で動く物もあるので電池交換は必要ですが充電いらず。
- * エントリーNo.2：体ふきシート
お風呂に入れない状態でも、汗のべたつきを解消できストレスの軽減ができます。冷感タイプシートはひんやり拭くだけで清涼感が続きます。
- * エントリーNo.3：冷感タオル
手触りサラサラで、生地が冷たいので冷や気持ちいいです。水に濡らしてタオルを振るだけで瞬間冷却。
- * エントリーNo.4：冷感マスク
普通のマスクより軽量、値段は1箱400円～700円代。試しましたが、個人的にマスク内が蒸れにくく感じました。
- * エントリーNo.5：衣類用冷感スプレー（ボディミスト）
普段の外出時にも大活躍風にあたると服がひんやりして気持ちいいです。

